

料金後納
郵便

ゆうメール

北陸大学卒業生への
ニュースレター

HOKURIKU UNIVERSITY

NEWS LETTER

2020
August
vol.30

CONTENTS

- P1 理事長・学長メッセージ
- P2 新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応について
- P3-4 国際コミュニケーション学部に心理社会学科を開設
- P5-8 CAMPUS NEWS
- P9 2019年度卒業時アンケート結果
- P10 入学者選抜概要・奨学金

2020
Message

理事長・学長メッセージ

学校法人 北陸大学 理事長・学長
小倉 勤

立秋の候、卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2020年は、東京オリンピック・パラリンピック開催に日本中が熱を帯びている最中、2月上旬頃から拡大した新型コロナウイルス感染症が世界の状況を一変させました。北陸大学では、卒業式を間近に控え、卒業する学生の皆様の晴れの舞台の準備が整った矢先の出来事でした。学生・保護者・教職員の安全を期し、なんとか卒業式を挙行し、卒業生を同窓会の一員として送り出すことができましたことはこの上ない喜びであります。4月には感染拡大により政府の緊急事態宣言が発出され、石川県もその対象となりました。入学式、その後の教育におきましては、学生の安全を第一に、未だ経験のない遠隔授業の導入など、教職員一丸となり円滑に実施することができました。社会全体が新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされ、経済活動の制限や自粛等の未曾有の事態の中、卒業生の皆様がご活躍されているお姿は、在学生はもとより教職員の一層の励みとなっております。

北陸大学は、2020年度には、医療保健学部、経済経営学部及び国際コミュニケーション学部の卒業生を初めて社会に送り出すことになります。大学で成長した卒業生を同窓会の一員として温かく迎えていただければ幸いです。また、本学のホームページにも掲載しております2021年4月開設予定の「国際コミュニケーション学部 心理社会学科」の準備も順調に進んでいます。新学科ではグローバルな視点をもち、人の心理を深く理解する力とコミュニケーション力を身につけ、「人と人」「人と社会」をつなぐ人材を養成し、本学の使命・目的である「健康社会の実現」に取り組んでまいります。私のなすべきことは、卒業生の皆様が学んだ北陸大学の伝統を継承し、更なる社会の変化に対応した進化を遂げることに尽きます。卒業生の皆様におかれましては、これまでのご支援に対し、心より感謝申し上げるとともに、これから北陸大学を温かく見守っていただければ幸いに存じます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症によって卒業生の皆様にとりまして、多くのご苦難があろうかと存じますが、何卒この災禍を共に克服されんことをお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。



● 新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応について ●

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、本学においては学生、教職員の安全確保を最優先としつつ、可能な限り学修機会を提供することを念頭に、早い段階から情報収集に努め、危機管理委員会及び危機対策本部にて対策を審議・決定し、様々な取り組みを行ってまいりました。3月13日の卒業式は保護者等のご参列を遠慮いただく等、規模を縮小して実施し、また、入学宣誓式については、全体での式典は行わず、新入生対象のフレッシュマンセミナーの中で開催日を分け、学部学科ごとに規模を縮小して実施しました。

その他、本学において取られた主な対応を以下の通りまとめましたので、ご報告いたします。今後も、引き続き石川県内及び全国の感染状況を注視しながら、教育活動、学生生活・課外活動、教職員の勤務体制等への対応を行ってまいります。

■ 授業関係

- 4月8日の授業開始日を22日から延期しました。この間に、授業実施方法の検討・準備を行い、4月22日よりオンラインでの遠隔授業を開始しました。ネット環境が整っていない、通信容量を確保できない学生については、事前申請の上、Wi-Fiが使える教室の使用を認める措置をとりました。
- 政府の入国・ビザ発給の制限により日本に入国できない留学生に対して遠隔授業を実施しています。
- 緊急事態宣言解除を受け、6月3日から対面形式による面接授業を一部開始し、7月1日以降は、遠隔授業の実施、面接授業の分散実施、分散登校等、感染拡大防止措置を講じた上で、面接授業対象科目を増やしました。
- 3月時点で海外留学中の学生は留学を中止とし帰国させました。今年度予定されていた学生の留学や海外研修については秋以降に延期とし、状況を見て実施を判断することとしています。

■ 修学支援

- 前期学費の納付期限を4月末から6月30日までに、後期学費の納付期限を10月末から12月末までに延長しました。
- 遠隔授業実施に伴う通信環境整備等に関する費用の補助として、学生全員（休学生を除く）に1人一律3万円を給付することとしました。
- 本学独自の奨学金である無利子貸与型の緊急奨学金の対象者枠を増やして受け付けるほか、家計が急変したために収入が大幅に減少するなどして経済的に学業継続が困難な学生の学費を減免する給付型奨学金の制度を新たに設けました。

■ 学生生活・課外活動関係

- 4月8日から6月2日までの間、学生に対し、不要不急の外出は控えること、風邪等の症状が出た場合には大学に報告するよう要請しました。原則として学生のキャンパスへの立入りを禁止としました。
- 6月3日からの面接授業の一部開始に合わせ、登学前に自宅での検温等の健康チェックの実施を要請した上で、両キャンパス数箇所に検温ブースを設け、発熱や体調不良があった場合には自宅で療養するよう指導しています。
- 学生食堂では、「三密」の状態とならないよう座席の間引きを行い間隔を空けるとともに、アクリル板を設置する等の感染防止策を施しています。
- バス通学での混雑解消のため、6月3日から朝の通勤・通学の時間帯に、本学の学生専用の臨時バス5便を運行しました。
- クラブ活動については、4月8日から6月2日までの間は活動禁止としました。6月3日からは、検温等体調管理の実施、十分な換気の実施、接触を伴う練習の禁止等を条件として、段階的に活動を再開しました。7月1日からは、感染防止策を徹底することを条件に北陸三県内での対外試合を行うことを可としました。

■ その他の対応

- 学生、教職員に対し、感染リスクの高い集会・会合（特に飲食を伴うもの）への参加は取りやめるよう要請しました。また、当面の間、海外を訪れるのを禁止しています。
- 教職員の感染防止のため6月末までの間、出張及び外部への研修参加を禁止しました。一部在宅勤務も実施しました。
- 各建物各所及び全教室へのアルコール消毒液の設置を行うとともに、使用した教室の除菌を行っています。

(事務局 総務課)



卒業生・保護者からのご寄贈

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学でもマスク確保等に苦慮する中、母校のために力になりたいとのお気持ちから多くの卒業生・保護者の皆様よりマスク、アルコール消毒スプレー、体温計等をご寄贈いただきました。ご支援にこの場をお借りして感謝申し上げます。

2021年4月開設 国際コミュニケーション学部 心理社会学科



北陸大学卒業生の皆様、初めまして。本年4月1日付で国際コミュニケーション学部に着任いたしました林と申します。どうぞ宜しくお願ひいたします。私の専門は「生涯発達心理学」と「臨床心理学」で、2021年4月に国際コミュニケーション学部に設置されます「心理社会学科」の教員として先行して赴任いたしました。

心理社会学科は、石川県では初めての「文系の心理学科」です。もちろん、心理学を学べる専攻やコースは他大学にもあります。理系ではない心理学科は、本学科が初めてになります。学科名称から「心理学」と「社会学」を学ぶように誤解されやすいのですが、内容的には純粋な心理学科です。

この学科の特徴のひとつは、国際コミュニケーション学部内に設置されることです。複雑化・高度化した現代社会では、情報化が急速に進行していることもあり、人ととの関わりが希薄化したり、緊張をはらんだものになりがちです。このような社会の中で生きていくためには、自己や他者についての的確な認識を持つとともに、人ととの関係を良好に保つための知識や技術を身に付けていくことが重要になります。換言すると、高いコミュニケーション能力が不可欠になりますので、心理学の知識と技術を持っていることは大きなメリットになると思われます。

さらに、グローバル化が進んでいる現在の日本では、他の文化圏の人と普通に接するようになっています。この場合、言語によるコミュニケーションや異文化への理解が特に重要です。このような意味から、心理社会学科は国際コミュニケーション学部に設置されることになりました。本学科を卒業した学生は、民間企業や公的機関の職員として、心理学の知識や技術を修めたゼネラリストとして、様々な分野で活躍することが期待されます。

また、医療や福祉の分野と異なり、長い間、心理学関係の国家資格はありませんでした。しかし、「公認心理師」という資格が制定され、今年は第3回の国家試験が行われます。心理社会学科のカリキュラムは、公認心理師受験資格に完全に対応しています。しかしながら、この試験を受けるためには、2年間の実務経験か大学院修士課程の修了が不可欠になります。後者を選んだ場合、北陸大学に心理系の大学院はありませんから、他大学大学院を受験することになります。その場合には、専任教職員が全力で受験者をサポートいたします。

心理社会学科は、北陸大学に新しく誕生する学科です。卒業生の皆様のご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

心理社会学科の特色

■ カリキュラム

1年次

2年次

3年次

4年次

心理学の基礎を学び、 現代社会について 理解を深める

心理学を学ぶための基礎を幅広く学ぶほか、情報処理、英語、異文化に対する理解を深め、幅広い教養を身につけていきます。

主な科目

心理学基礎演習
心理学概論
発達心理学
心理学統計法
国際関係学入門
異文化間コミュニケーション
北陸の文化と社会

社会調査論
コミュニケーション心理学
社会心理学概論
社会学
文化資源学入門
ことばと文化
など

データ解析を用いた 心理学の研究法と 専門科目を学ぶ

心理学を研究するためのさまざまな研究法を学ぶほか、家族、社会、集団、児童、青年など、さまざまな人の心理について学びます。

主な科目

心理学の支援法
児童心理学
知覚・認知心理学
消費者行動論
経営組織論
環境社会学
心理学実験

心理調査概論
社会・集団・家族心理学
グループダイナミックス
経済学
国際社会論
現代日本論
など

より深く、高度な知識と コミュニケーション能力を 身につける

ゼミナールを通してグループで研究の立案、実験、結果の考察、まとめを行います。ほか、より高度で幅広い知識を身につけます。

主な科目

心理学ゼミナール
心理学データ解析
産業・組織心理学
広告と消費の心理学
経営組織論
環境社会学
心理学実験

福祉心理学
司法・犯罪心理学
心理演習
教育・学校心理学
マーケティング論
観光ビジネス論
など

卒業研究に取り組み、 卒業論文を完成させる

3年次までの学びを振り返り、各自の興味・関心をもとに卒業研究に取り組みます。担当教員の個別指導で1人ひとりきめ細かくサポートします。

主な科目

卒業研究
心理学実習
英米文学史

心理学特殊講義
マーケットリサーチ論
など

■ 取得可能な資格

- 認定心理士
- 認定心理士(心理調査)
- 社会調査士
- 公認心理師(国家資格)受験資格 (※)

公認心理師とは

保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識および技術をもって、心理状態の観察と結果の分析、心理に関する相談および助言、指導、援助、心の健康に関する知識の普及を図るために教育および情報の提供などを行う心理職の国家資格です。

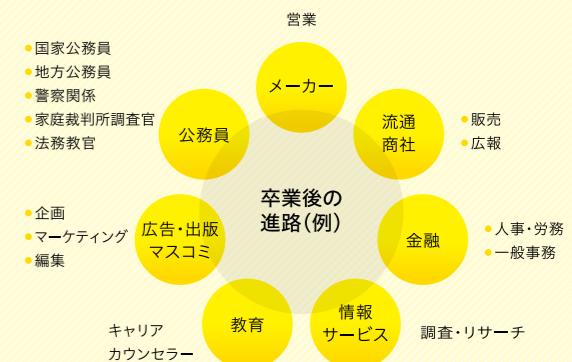
※ 公認心理師の受験資格を得るために、在学中に公認心理師受験に必要な科目を修得し、卒業後、大学院において必要な科目を履修し修了するか、認定を受けた機関における実務経験が必要となります。

■ 活躍のフィールド

心理学の専門性を備えたゼネラリストとして

企業、行政など、さまざまな業界・職種へと ひろがる選択肢

心理学の学びを通して身につける、ヒト・モノ・コトをさまざまな角度、手法で考察する力は、より良い人間関係を構築する力につながっています。心理学の専門的な学びに裏付けられた高いコミュニケーション能力は、さまざまなフィールドで活かすことが期待されます。



心理のスペシャリストとして

研究者、心理専門職を目指す

心理専門職である「公認心理師」や「臨床心理士」を志望する場合は、大学院に進学する必要があります。心理専門職を目指したい方には、担当教員が個別に進路相談を行い、受験対策をサポートします。

HOKURIKU UNIVERSITY NEWS / 2019-2020

北陸大学の最新ニュース

CAMPUS TOPICS

2020年春の叙勲受章

2020年4月29日付で発表された春の叙勲で、大屋敷孝元学長・名誉教授、山本郁男名誉教授が、教育研究における長年の功績に対し受章されました。瑞宝中綬章を受章の大屋敷元学長は、薬学部教授などを歴任後、2008年～2011年の間、第8代学長に就かれ、生化学(臨床化学)の教育・研究に尽力されました。瑞宝小綬章受章の山本名誉教授は、薬学部教授として衛生化学の研究活動に尽力されました。

「北陸大学ものづくりLab」を新設

本学では、2020年度北陸大学特別研究助成金【若手研究】の採択を受け、「北陸大学ものづくりLab」を新設し、2020年7月7日より運用を開始しました。当該研究助成の研究代表者である経済経営学部の藤本雄紀助教が中心となり、本学プログラミングサークルに所属する学生スタッフと共に、北陸大学の学生・職員・教員皆が自由に活用できる創造の場を目指しています。今後は、他大学ならびに地域企業との連携拠点、そして地域市民との交流の場としての機能も期待されます。



「北陸大学ものづくりLab」

- ・各種機材・ソフトウェアの提供
- ・統計・情報に関する勉強会の実施
- ・研究活動における交流の場としての活用

地域の課題解決やフィールドワークにチャレンジ 大学コンソーシアム石川の事業に4件採択

[2020年度金沢・いしかわフィールドワーク支援事業]

石川県内にて行うフィールドワーク授業・プログラムの中で学習効果が高い事業を支援
①担当教員：山本経済経営学部長

「地域防犯推進プロジェクト～地域安全マップづくり」(4年目)

[2020年度地域課題研究ゼミナール支援事業「地域共創支援枠」]

県内高等教育機関のゼミナール・研究室及び学生団体が、その専門性を活かし、地域課題の解決に向けて行う活動を支援

①経済経営学部 田尻ゼミ（協働団体：財団法人あくるめ）

「コミュニティ財団による、地域の新しい資金循環づくりと人材育成」

②経済経営学部 楠山ゼミ（協働団体：NPO エコラボ）

「Refill いしかわ・金沢 リフィルスポット(給水スポット)の調査と普及活動」

③経済経営学部 藤岡ゼミ（協働団体：能登ふるさと振興課地域戦略推進室）

「定量・定性面にみる能登高校魅力化プロジェクトが当該地域にもたらす効果の調査と発信」(2年目)

北陸大学名誉教授称号授与式を挙行

北陸大学名誉教授称号授与式が2020年6月30日、太陽が丘キャンパスで行われ、今年3月に退職された佐野新一氏、叶秋男氏（元経済経営学部教授）2名に名誉教授の称号が授与されました。授与式では、小倉理事長・学長より名誉教授記が手渡され、永年にわたる教育研究の功績に対し、感謝の言葉が述べられました。



国際性分野で北陸 No.1!

「THE 世界大学ランキング日本版2020」が2020年3月24日に発表され、本学は「国際性」の分野で4年連続北陸No.1の評価をいただきました。また、「私立大学総合ランキング」で北陸2位、「教育充実度」の分野でもランキン入りしました。「THE 世界大学ランキング日本版」は、英国の教育専門誌「Times Higher Education (THE: タイムズ・ハイヤー・エデュケーション)」が発表する大学ランキングで、国内の偏差値重視の大学評価から、世界的な評価方法へと転換するランキングとして注目されています。これらのランキングの活用により、「研究力」「教育力」「社会貢献度」などさまざまな観点から、これまで見えにくかった日本の大学における「教育力」が分かります。



研究活動

医療保健学部・高橋純子准教授が 「災害時緊急医療手帳アプリケーション」を開発

医療保健学部の高橋純子准教授が、日本学術振興会による「科学研究費助成事業」の研究成果として、人工呼吸器を装着した在宅療養を受けている難病患者様の治療や療養に関する情報を管理するためのスマートフォンアプリ「災害時緊急医療手帳」をアイパブリッシング株式会社と共同で開発しました。当該アプリを使用することで、患者様が災害時などに避難先でも治療や療養上の情報を提示することにより、医療機関などへ治療の継続や支援を円滑に求めることが可能となります。



医療保健学部・佐藤妃映准教授が 北國がん基金の第34回研究助成対象者に

医療保健学部の佐藤准教授は、病理学・細胞診を専門としており、長年にわたり成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL)に関する研究に従事しています。これまで学び得た知識と経験を活かして、本研究課題『液状化検体細胞診法を用いたがんの分子病理学的検査への応用に関する研究』では、がんの診断に用いられている数種類のマーカーを用いて、種々の標本作製条件を比較検討し、がん遺伝子の保存状態に関する知見を得ることを目的としています。これより、検査の精度が高まり、がんの分子病理学的診断のための標準化された検査法につながるものと期待されます。

薬学部・周尾卓也講師が 2020年度(第45回)学術研究振興資金に採択

薬学部の周尾卓也講師が、日本私立学校振興・共済事業団の2020年度学術研究振興資金に継続(3年目)課題として採択されました。研究課題名は『閾値下レーザーに応答する網膜色素上皮細胞の分子基盤』で、糖尿病黄斑浮腫と呼ばれる眼疾患の治療法にかかる基礎研究を実施します。なお、本資金については、応募総数139件(1校につき1件のみの応募)のうち、41件が採択されています。



経済経営学部・奥田純子助教が 2020年度女性研究者奨励金に採択

経済経営学部の奥田純子助教が、日本私立学校振興・共済事業団の2020年度女性研究者奨励金に採択されました。研究課題名は『高校における地域課題解決型学習の効果に関する実証分析』で、高校における地域課題解決型学習が卒業後に地元で働く人を創出するのかを実証的に明らかにすることを目指します。なお、本資金については、応募総数120件(1校につき1件のみの応募)のうち31件が採択されています。



ボランティア活動

本学の学生が地域の様々なイベントでボランティアとして活躍しています。

JCI金沢会議でボランティア

公益社団法人金沢青年会議所が主催するJCI金沢会議が2020年2月21日から23日まで開催され、国際コミュニケーション学部生の6人がボランティア活動に従事しました。学生たちは、香港・韓国の姉妹JCからの訪問団に対する通訳ボランティアや各種シンポジウム、SDGs企業パーク等で一般ボランティアとして活躍しました。



災害ボランティア

救護ボランティア団体「北陸大学学生赤十字奉仕団」に所属する医療保健学部生4人が2019年11月1日・2日、台風19号で被災した長野県の災害ボランティアに参加しました。赤沼地区では、民家の清掃をする役割を担い、床にこびりついた泥を除去し、拭き取る作業を行い、篠ノ井方面の廃棄場では廃棄物の仕分け作業を行いました。



金沢ゆず香るん祭り

JA金沢ゆず部会の生産者主催「第3回金沢ゆず香るん祭り」が2019年11月10日、旧東浅川小学校で開催され、金沢市との包括連携協定に基づき本学学生19人がボランティアとして参加しました。



キッズイングリッシュキャンプ

羽咋市内の小学生を対象に、基本的な英語表現に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ることをねらいとした「宿泊体験学習HAKUIキッズイングリッシュキャンプ」の初回が2019年9月13日、14日に国立能登青少年交流の家で行われ、「英語科教育法II」の一環として本学から教職を目指す11人の学生がボランティアとして参加しました。

加賀ロボーブ国際大会

アメリカ、中国、台湾、シンガポール、インドなどからのロボットチーム400人以上が参加する加賀ロボーブ国際大会が2019年11月8日～10日に、加賀市スポーツセンターで開催され、本学留学生10人が通訳ボランティアとして参加し、英語・中国語での会場内のアナウンスや参加者への通訳を担当しました。

献血ボランティア

2019年12月7・8日に石川県赤十字社が実施する全国学生献血クリスマスキャンペーンに他大学の学生とともに本学学生がボランティアスタッフとして参加し、延べ41人が事前準備、受付や献血呼びかけ等の活動を行いました。

HOKURIKU UNIVERSITY NEWS / 2019-2020

 北陸大学の最新ニュース

クラブ活動報告

アイスホッケー部



25年連続インカレ出場

第27回日本学生氷上競技選手権北信越予選大会が2019年11月3日・4日に長野県、29日・30日に新潟県で開かれ、本学アイスホッケー部は5戦全勝で優勝し、25年連続で日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）に出場しました。インカレは12月25日から29日に北海道釧路市で開催され、本学は1回戦の北海道大学に8対0で完封勝利しました。続く二回戦では、昨年ベスト8の関西大学と対戦し、途中1点差まで迫り、健闘しましたが3対8で惜しくも敗れました。

サッカー部（男子・女子）



インカレ出場

第47回北信越大学サッカーリーグ戦で本学男子サッカー部が2位となり、4年ぶり4回目となる全日本大学サッカー選手権大会（インカレ）に出場しました。2019年12月11日に1回戦の東海地区代表の常葉大学と対戦し、健闘しましたが終了間際にゴールを決められ惜しくも0対1で敗れました。

女子サッカー部も2019年10月19日・20日に新潟県で行われたインカレ北信越選で2位となり、2年ぶり7回目のインカレに出場しました。

卓球部



北信越大会優勝

第67回秋季北信越学生卓球選手権大会が2019年11月30日・12月1日に富山県高岡市で開かれ、本学卓球部は男子ダブルス、男子シングルスでそれぞれ優勝・準優勝しました。大会成績は以下のとおりです。◆ダブルス優勝：佐藤雅希（経済経営3年）・磯野辰哉組（同1年）準優勝：砂子拓海（経済経営2年）・浦口耕太郎組（同1年）◆シングルス優勝：中陳辰郎（経済経営2年）準優勝：南和歩（経済経営3年）

柔道部



全日本学生柔道体重別団体優勝大会（インカレ）出場

北信越学生柔道体重別団体優勝大会が2019年9月1日に石川県立武道館で開かれ、本学柔道部は団体戦で準優勝し、12年連続12回目の全日本学生柔道体重別団体優勝大会（インカレ）に出場しました。インカレは10月19日、20日にベイコム総合体育館（尼崎市）で開催され、1回戦で大阪産業大学と対戦し、1-2で敗退しました。

バスケットボール部（女子）



インカレ出場

第53回北信越大学バスケットボール選手権大会が2019年10月24日から27日まで富山市で開催され、女子バスケットボール部が全勝で3年連続3回目の優勝を飾り、全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）に北信越代表として出場しました。初戦は12月10日に専修大学（35年連続出場）と対戦し、健闘しましたが惜しくも敗れました。

中陣さんが卓球スペインリーグに参戦

卓球部の中陳辰郎さん（経済経営学部2年）が、2020年2月から2か月間、スペイン卓球2部リーグのClub Tennis Taula Olotに所属し、同リーグに参戦しました。例年、スペインリーグに日本から参戦する選手は、関東地区的強豪大学に在籍する選手が多くを占めますが、中陳さんの実力と卓球部木村監督の熱意が関係者に伝わり、参戦の機会を得ることができました。

北信越学生新人戦大会で全種目制覇

第50回北信越学生卓球新人選手権大会が2019年12月21日・22日に福井県大野市で開かれ、本学卓球部がシングルス、ダブルス、団体戦の全種目完全制覇を達成しました。

薬友会 会長就任のご挨拶

平素は薬友会の運営につきまして、会員の皆様から多大なご協力とご支援をいただいておりますこと心から御礼申し上げます。また、今回の新型コロナウイルス感染症の発生により影響を受けた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。そして最前線でご活躍されている同窓生の皆様へ心から敬意・感謝申し上げます。

さて、この度、北陸大学薬友会会長選挙の結果、第11代薬友会会长に就任いたしました藤本高弘（昭和60年卒）です。伝統ある北陸大学薬友会の会長を拝命いたしましたことを、心から光栄に思うと同時に身の引き締まる思いであります。

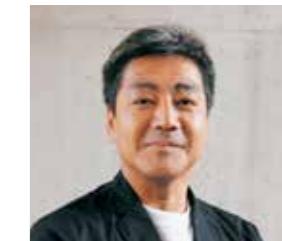
私は20年間の薬友会活動（主に生涯教育研修会）を通じ、社会（薬剤師会等）で活躍されている同窓生の存在を数多く知ることが出来ました。ここ最近では、災害の現場（D-MAT等）や新型コロナウイルス感染防止のため医療現場や医療提供施設、行政などでご尽力されている同窓生の姿も数多く拝見することが出来ました。また、今年7月より放送が始まりました石原さとみさん主演のドラマ「アンサンブル・シンデレラ 病院薬剤師の処方箋」では今まで世間には見えにくかった病院薬剤師の仕事がより多くの皆さんに理解していただけると思います。これからも同窓会活動を通じて、一人でも多くの卒業生が表舞台に立ち、個々が有する経験や知的財産を集合知に変え、情報発信のために卒業生ネットワークを再構築するとともに、「薬剤師

職能の見える化」を推進したいと思います。また地域社会への貢献及び、北陸大学薬学部の更なるブランド化を目指していきたいと考えております。

まずは持続可能な同窓会運営を目指し、環境の変化と地域社会における新たな役割に対応できる薬剤師養成に向けて、これまで以上に大学との太いパイプを活用し、各支部の卒業生のつながり（研修会・卒業生の集い等）を通して、若い方にも参画しやすい同窓会組織にしていきたいと思います。

どうかこれからも薬友会の活動に対し、教職員の皆様、諸先輩の皆様、後輩の皆様の益々の力強いご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。併せて、母校大学発展のため、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただきますよう心からお願い申し上げ、会長就任にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。

薬友会 会長
藤本 高弘（薬学部第7期生）



「北陸大学奨学寄付金」「北陸大学研究助成金・奨励金」へのご寄付（寄付者）

寄付のご協力ありがとうございました。ここに感謝をもってご報告させていただきます。北陸大学では、多くの学生が充実した学生生活を送ることができるよう、教育研究環境の整備と充実、学生への奨学金や活動支援のために皆様のご厚志を活用しております。2019年度の寄付金は総額1,948,050円となりました。寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。（敬称略）

個人

秋野 隆仁／阿部 光正／泉 洋成／宇於崎 圭介／臼井 一城（2009年3月薬学部卒業）／浦 正明／大桑 優子／小倉 勤／小田原 実／加藤 孝治／木下 雅之／斎藤 延行／島田 美由紀／周 航／周 晴／高澤 順子／高橋 寿明／田邊 良和／鶴見 祐大／戸井 康子／徳野 恵子／中山 知美／長谷川 孝徳／廣澤 伶奈（2013年3月薬学部卒業）／付 超一／干場 聰史／堀川 靖子／正木 久雄（1979年12月薬学部卒業）／松本 泰一／三浦 雅一／南野 茂／山崎 典幸／李 銅哲／渡辺 久恭／匿名25件 計59件

法人他

株式会社アルプ／株式会社うつのみや／株式会社浦建建築研究所／SMBC日興証券株式会社金沢支店／金沢信用金庫 武蔵支店／株式会社クマ／コーシン・サントリービバレッジ株式会社／柴電気工事株式会社／株式会社新村建設／ソノダ印刷株式会社／株式会社西原ネオ金沢営業所／株式会社日本エージェンシー／ハヤシ印刷紙工株式会社／北陸大学ファンタステイック同窓会有志一同／株式会社宮地組／株式会社モス ホテル日航金沢／吉田道路株式会社／米沢電気工事株式会社／匿名9件 計27件

奨学寄付金

学生の修学を支援するために支給する奨学金等の原資として、有為な人材の育成に資することを目的としています。具体的には「経済的に修学困難な学生を応援」「海外留学を目指す日本人学生を応援」「海外からの留学生を応援」「課外活動に頑張る学生を応援」「地域連携事業に頑張る学生を応援」に活用させていただきます。

ご寄付のお願い

「北陸大学奨学寄付金」「北陸大学研究助成金・奨励金」のご寄付につきましては、随時承ります。詳細は本学ホームページをご確認をお願いします。すべての寄付お申し込みはトップページにある「北陸大学へのご支援」から入ることができます。

北陸大学へのご支援：<https://www.hokuriku-u.ac.jp/bokin/index.html>

研究助成金・奨励金

本学の教員が幅広い教育研究を展開するための資金とし、その教育研究によって得た成果を社会に還元することで本学と社会の連携を強めることを目的としています。具体的には「教育研究を推進・学術を奨励」「『健康社会の実現』に係る研究活動を奨励」に活用させていただきます。



「サクセスがる!
ホクダイYoutubeチャンネル」



「HOKUDAI 5GTV」

未来に向けた5G (=5学科) ムービーを
YouTubeで配信中。各学科の教育等を
コンパクトにまとめていますので、ぜひご覧ください！



おうちから大学をのぞき見! ホクダイの オンライン オープンキャンパス

9.13(日) 12.5(土) 6(日)

オンラインオープンキャンパスで
北陸大学をのぞいてみよう!



パソコンOK



スマホOK



タブレットOK

参加費無料

Wi-Fi環境推奨

Zoom使用



オープンキャンパスの詳しい内容については本学Webサイトをご確認ください

<https://www.hokuriku-u.ac.jp/oc>



第44回 北大祭

10.17(土) 開催(予定)

テーマ 「北大祭2020～逆境を切り開け～」

第44回北陸大学学園祭実行委員長を務めさせていただきました経済経営学部3年次生の角永吏生です。今年は新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、例年通りの開催ではなくオンラインを利用するなど、現在、開催方法を学園祭実行委員会にて検討しています。例年とは大きく異なる状況での開催になりますが、今年はこれまで以上の盛り上がりを目指し特別なものにしようと実行委員一同、準備を進めています。今年のテーマは、「北大祭2020～逆境を切り開け～」です。新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントの中止など、出来ることが限られる中、私たちが先頭に立って学園祭を行うことで学生や地域の方々に明るいニュースを届けたいという思いで、「逆境を切り開け」という言葉を選びました。今年の北大祭は今までにない新たな形での開催ができるように実行委員会一同頑張ります。

第44回北陸大学学園祭実行委員長 経済経営学部3年次生 角永吏生



第44回 学園祭実行委員

編集後記

2020年も半分が過ぎましたが、新型コロナウイルス対策に振り回された過去にない1年になりました。本誌にもあるとおり、本学も様々な対応を行ってきました。変なことが多くあった一方で、遠隔授業やWEB会議等のリモートワークの導入等、必要に迫られ、いろいろな工夫もできました。ウイルスに限らず、人は危機に見舞われると目が覚めますが、すぐにまた忘れてしまします。今回の新型コロナウイルス感染症は、人類への警鐘なのかもしれません。今後同じような事態に陥らないよう教訓を学ばなければならないと感じます。新型コロナウイルスの1日も早い収束と、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

編集・発行

21世紀を生き抜くチカラ。
北陸大学

薬学部 薬学科

経済経営学部 マネジメント学科

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科・心理社会学科（2021年開設予定）

医療保健学部 医療技術学科

未来創造学部 國際教養学科 國際マネジメント学科

〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1

TEL.076-229-1161㈹ FAX.076-229-1348 <http://www.hokuriku-u.ac.jp/>

住所変更等のご連絡は、下記同窓会までお願ひいたします。
卒業学部名を明記してください。

北陸大学同窓会事務局（北陸大学内）

〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1

TEL.076-229-6015

jimukyoku@hokuriku-u-doso.org